

社会福祉法人うるま市社会福祉協議会
平成 31 年度事業報告

《総 括》

団塊の世代が高齢者世代に突入した我が国は、かつて経験したことのない超高齢化社会を迎えました。併せて人口減少や家族・地域社会との関係性の変化等により、社会的孤立や子どもの貧困・虐待などの課題が顕在化し、既存の制度では対応困難な複合的課題が増加するなど、福祉を取巻く新たな環境の中、本会においては第 3 次うるま市地域福祉活動計画に沿った各種事業を推進しました。「地域共生社会」の実現という施策の流れを受け止め、制度の狭間にある問題に対して必要な支援が行えるよう「総合相談体制の強化」「福祉教育の充実」や住民同士で支えあえる地域づくりを進めるための「地域のつながりの再構築」を推進する中で、関係機関や地域住民等と連携し、市内社会福祉法人や多くの地域企業の皆様の社会貢献活動とネットワークの拡充を行いました。

役員体制も第 9 期を迎え、第 3 次うるま市地域福祉活動計画や理事・監事等の役割、社協の現状と課題、財政運営について理事・監事研修会をとおして学び、組織強化に努めました。

自主財源の確保では、社協会員拡充のため加入を呼びかけ、寄附金品の贈呈を広報し本会への寄附を周知しました。また、介護保険事業所職員の処遇改善を進め、職員の定着と経営の安定化を図りました。

以下、平成 31 年度の事業実績について報告します。

2 実施事業

(1) 法人運営事業 《自主事業》

ア 理事会・評議員会・監査の実施		事業形態	自主事業
		主な財源	社協会費
		サービス区分	法人運営事業
実施内容	1 組織運営に関する事項 ① 第 1 回理事会 ・期 日 令和元年 6 月 4 日（火） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 理事 12 名 監事 2 名 ※議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 1 号 平成 30 年度事業報告の承認について ・議案第 2 号 平成 30 年度決算報告の承認について ・議案第 3 号 定款の変更について ・議案第 4 号 欠員に伴う評議員候補者の推薦について ・議案第 5 号 評議員選任・解任委員の補充選任について ・議案第 6 号 令和元年度第 1 回評議員会（平成 30 年度に係る定時評議員会）の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について ② 第 2 回理事会 ・期 日 令和元年 6 月 20 日（木） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 理事 10 名 監事 2 名 ※議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 7 号 会長、副会長の選定について ・議案第 8 号 従たる事務所の移転について		

	・議案第 9 号 評議員選任・解任委員の補充選任について ・報告事項 会長の職務執行の状況について ③ 第 3 回理事会 ・期 日 令和元年 10 月 11 日（金） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 理事 13 名 監事 2 名 ※ 議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 10 号 令和元年度第 1 回社会福祉事業区分資金収支補正予算について ・議案第 11 号 改元に伴う規程、規則の一部改正について ・議案第 12 号 欠員に伴う評議員候補者の推薦について ・議案第 13 号 令和元年度第 2 回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について ④ 第 4 回理事会 ・期 日 令和 2 年 3 月 4 日（水） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 12 名 監事なし ※ 議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 14 号 令和元年度第 2 回社会福祉事業区分資金収支補正予算について ・議案第 15 号 令和 2 年度事業計画について ・議案第 16 号 令和 2 年度社会福祉事業区分資金収支予算について ・議案第 17 号 うるま市社協指定通所介護事業所運営規程の一部改正について ・議案第 18 号 任期満了に伴う第三者委員の選任について ・議案第 19 号 令和元年度第 3 回評議員会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について ・報告事項 会長の職務執行の状況について ⑤ 第 1 回評議員会（定時評議員会） ・期 日 令和元年 6 月 20 日（木） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 評議員 20 名 監事 1 名 正副会長 ※ 議案審議結果 議案第 4 号の理事選任 1 人保留のほか全議案とも原案どおり決議。 ・議案第 1 号 平成 30 年度事業報告の承認について ・議案第 2 号 平成 30 年度決算報告の承認について ・議案第 3 号 定款の変更について ・議案第 4 号 第 9 期理事及び監事の選任について ⑥ 第 2 回評議員会 ・期 日 令和元年 11 月 11 日（月） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 評議員 24 名 監事 2 名 正副会長 ※ 議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 5 号 令和元年度第 1 回社会福祉事業区分資金収支補正予算について
--	--

	・議案第 6 号 欠員に伴う理事及び監事の補充選任について ⑦ 第 3 回評議員会 ・期 日 令和 2 年 3 月 18 日（水） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 理事 28 名 監事 1 名 正副会長 ※ 議案審議結果 全議案とも原案どおり決議 ・議案第 7 号 令和元年度第 2 回社会福祉事業区分資金収支補正予算について ・議案第 8 号 令和 2 年度事業計画について ・議案第 9 号 令和 2 年度社会福祉事業区分資金収支予算について ・議案第 10 号 欠員に伴う理事の補充選任について ⑧ 第 1 回評議員選任・解任委員会 ・期 日 令和元年 6 月 7 日（金） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 嘉陽宗吉・名護正輝・宮城則子・宮里司 ※審議結果 原案どおり決議 ・議案第 1 号 評議員の補充選任について（2 名補充） ⑨ 第 2 回評議員選任・解任委員会 ・期 日 令和元年 10 月 17 日（木） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 嘉陽宗吉・名護正輝・山根晃・宮里司 ※審議結果 原案どおり決議 ・議案第 2 号 評議員の補充選任について（4 名補充） ⑩ 業務監査の実施 ・期 日 令和元年 5 月 22 日（水） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・監 事 伊良波 幸輝・宮城則子 ・参加者 会長以下事務局長ほか職員 ⑪ 管理職会議の開催（正副会長及び局長課長） ・平成 31 年 4 月 15 日（月）から毎週月曜日開催 ・場 所 健康福祉センターうるみん ・開催数 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月まで 49 回 ・協議事項 ・児童福祉週間事業について ・社会保険労務士との契約について ・平成 30 年度一般会計決算の状況について ・平成 31 年度税制改正に伴う受託事業費の消費税減税について ・平成 30 年度事業報告書について ・令和元年度第 1 回理事会の議案説明について ・令和元年度第 1 回評議員選任・解任委員会の議案説明について ・令和元年度第 1 回評議員会（定時評議員会）及び第 2 回理事会の上程議案について ・理事研修について ・社協行事スケジュール（福祉まつり、福祉大会、共募委員会）について ・令和元年度特に留意して取組むべき案件について
--	---

	・郵貯フードドライブ協定について ・令和元年度第3回理事会、第2回評議員会、第2回評議員選任・解任委員会の日程及び上程議案について ・職員研修について ・福祉まつり第2回実行委員会について ・介護事業所敬老会について ・介護保険事業の経営報告について ・福祉まつり作業部会の進捗状況について ・ボランティア推進交流会について ・赤い羽根共同募金運動街頭募金活動について ・赤い羽根共同募金月次の実績状況について ・令和2年度予算策定スケジュールについて ・第15回うるま市社会福祉大会の開催について ・歳末たすけあい募金配分事業について ・社会福祉大会表彰委員会及び社協推薦について ・福祉まつり第3回実行委員会について ・社会福祉大会準備の進捗状況について ・地域福祉活動報告会について ・令和元年度第4回理事会、第3回評議員会の日程及び上程議案について ⑫ うるま市への陳情・要請活動 ・令和2年度うるま市事業業務委託に係る委託料への一般管理費計上について
効果	関係機関・団体、地域住民で構成する理事・評議員・監事により、社協運営と必要な事業を実施するため、地域の福祉ニーズや福祉サービスを利用する地域住民等の声を法人の運営に反映させた。

イ 役員職員研修の実施		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	法人運営事業
実施内容	社協理事・監事を対象に、第3次うるま市地域福祉活動計画や理事・監事・評議員等の役割、社協の現状と課題、財政運営について学んだ。 ・期 日 令和元年6月20日（木） ・場 所 うるま市健康福祉センター ・参加者 理事10名 監事2名		
効果	社協の役割の再確認、運営体制や実施事業等について学ぶことで、地域福祉の推進充実につながった。		

《実施内容》 ウ うるま市社会福祉大会の実施		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	社会福祉大会事業
実施内容	福祉活動功労者等の表彰及び記念講演「やっぱり公民館！地域はやっぱり『温か〜い！』」を実施した。 ・期 日 令和2年2月11日（火） ・場 所 健康福祉センターうるみん ・参加者 約200人		

効果	継続して大会を実施することで、市民の福祉意識の高揚につながる。
----	---------------------------------

エ うるま市福祉まつりの実施	事業形態	自主事業
	主な財源	市補助金 共同募金配分金
	サービス区分	福祉まつり事業
実施内容	期 日 令和元年 11 月 30 日（土） 場 所 うるま市芸術劇場及び周辺 参加者 約 4,000 人 参 加 ステージ 14 団体、体験 12 団体、展示 21 団体、販売 17 団体	
効果	福祉団体等の活動を周知するとともに住民相互の交流と福祉関係団体等との相互理解の機会となった。	

オ 関係機関・団体との連絡調整及び委員会等の設置	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	福祉まつり実行委員会、社会福祉大会役員会等、必要に応じて関係機関・団体との連絡調整を随時行った。	
効果	社協活動に係る継続や展開等が円滑になった。	

カ その他	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	① 与那城社会福祉センターの管理運営（指定管理）	
	利用団体	与那城支所
	社会福祉協議会・福祉団体	46 回
	行政関係	0 回
	一般市民・団体	20 回
	合計	66 回
	② 福祉バスの貸出 本所 115 回、石川支所 100 回 ③ 葬祭用祭壇の貸出 3 件（勝連支所） ④カラオケ機器の貸出 本所 219 回	
効果	事業をとおして、地域住民・団体のニーズに対応できた。	

（２）自主財源の確保

ア 社協会員加入促進 （戸別会員・賛助会員・団体会員・特別会員）	事業形態	自主事業
	主な財源	社協会費
	サービス区分	法人運営事業
実施内容		

	地 区	戸別会員	賛助会員	団体会員	特別会員	合 計
	具志川地区	8,378 世帯 4,188,800 円	329 名 328,701 円	31 団体 110,000 円	56 社 315,000 円	4,942,501 円
	石 川 地 区	2,497 世帯 1,248,500 円	57 名 57,000 円	11 団体 55,000 円	29 社 190,000 円	1,550,500 円
	勝 連 地 区	1,250 世帯 625,000 円	2 名 2,000 円	3 団体 15,000 円	7 社 45,000 円	687,000 円
	与那城地区	1,791 世帯 895,500 円	34 名 33,500 円	2 団体 10,000 円	15 社 85,000 円	1,024,000 円
	合 計	13,916 世帯 6,957,800 円	422 名 421,201 円	47 団体 190,000 円	107 社 635,000 円	8,204,001 円
効果	成果が上がらない厳しい状況となった。					

イ 共同募金運動の実施	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	—

うるま市共同募金委員会の運営

うるま市共同募金委員会及び各地区推進委員会を開催し、共同募金事業の目標や課題についての認識を共有するため、自治会をはじめ民生委員等の多くのボランティアの協力を得て実施した。

うるま市共同募金委員会 第1回 委員会の開催

期 日：令和元年9月5日（木） 出席者：10 名

報告事項1 任期満了に伴う委員及び監事の選任報告について

議案第1号 会長及び副会長の選任について

議案第2号 平成30年度 事業報告について

議案第3号 平成30年度 決算報告について

議案第4号 令和元年度 事業計画について

議案第5号 令和元年度 資金収支予算について

議案第6号 歳末たすけあい義援金配分要綱の一部変更について

うるま市共同募金委員会地区推進委員会の開催

具志川地区推進委員会・・・令和元年9月27日（金）出席者：20 名

石川地区推進委員会・・・令和元年9月26日（木）出席者：14 名

勝連地区推進委員会・・・令和元年9月24日（火）出席者：15 名

与那城地区推進委員会・・・令和元年9月19日（木）出席者：9 名

令和元年度共同募金運動出発式

台風接近により中止。

【共同募金実績】

募金種別	赤い羽根	歳末たすけあい
戸 別 募 金	6,488,450 円	4,123,590 円
職 域 募 金	1,343,299 円	789,794 円
街 頭 募 金	311,466 円	—
学 校 募 金	847,355 円	—
個 人 大 口 募 金	1,108,552 円	266,461 円
法 人 募 金	1,670,945 円	483,000 円
そ の 他 募 金	159,736 円	257,249 円
合 計	11,929,803 円	5,920,094 円

効果

募金運動の取り組みを見直し、共同募金委員会を中心とした募金運動の強化を図ることが必要。

ウ 資金造成に係る関係団体等との連携		事業形態	自主事業
		主な財源	—
		サービス区分	—
実施内容	団体等が開催するチャリティーショーの後援となり、収益金の一部を寄附していただき、法人運営等の財源確保を図った。 - 具志川なつメロ友の会：令和元年8月9日（金） 618,079 円 - うるま歌謡友の会： 令和元年10月23日（水） 800,000 円 - ナニマイレフラススタジオ：令和元年10月31日（木） 100,000 円 - ちよこ歌謡教室： 令和元年12月4日（水） 200,000 円		
効果	必要な財源の確保ができた。		

	事業形態	自主事業
--	------	------

エ 寄附金募集の推進		主な財源	—
		サービス区分	法人運営事業
実施内容	寄附金募集の推進 ・一般寄附 48 件 5,672,490 円 ・指定寄附 1 件 32,000 円(マイクロバス購入 1 件)		
効果	法人運営等の財源確保ができた。		

(3) 地域福祉活動事業 《～第3次地域福祉活動計画～》

目標1 一人ひとりが「参加する」ための地域環境づくり

計画1 地域福祉意識の醸成と人材の確保

① 福祉教育の充実による人権教育・啓発の推進

ア 福祉教育の充実による人権意識の醸成		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	ボランティアセンターによる児童・生徒に向けた福祉体験学習に必要な相談、プログラムの提案、活動への協力を行った。 ・福祉学習プログラムのコーディネート及び助成（保育園、幼稚園、学校等） 福祉プログラムの提案・調整 20 校（延べ 28 校） 延 1,739 人 児童生徒、住民の体験学習支援 47 回		
	沖縄県警察学校	・令和元年5月8日（水） 出会いと気づきの体験 知的障がい者の理解と対応 施設ボランティア活動の心得 講話、当事者体験発表、疑似体験	参加者：94 人
	与勝第二中学校	・令和元年5月16日（木） 視覚障がい者の理解体験・福祉講話 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 ・令和元年5月30日（木） アイマスク歩行体験 意見交換	参加者：29 人
	あげな小学校	・令和元年5月31日（金） 福祉体験学習についての打ち合わせ ・令和元年6月4日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 ・令和元年6月11日（火） 点字学習・体験（点訳工房） ・令和元年6月12日（水） アイマスク歩行体験	参加者：69 人 （4 年生）
	田場小学校	・令和元年6月14日（金） 福祉体験学習についての打ち合わせ ・令和元年6月18日（火） 視覚障がい者の理解体験・福祉講話、 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 ・令和元年6月21日（金） アイマスク歩行体験 ・令和元年8月28日（水） 県社協キャリア教育 「福祉のお仕事入門教室」サポート	参加者：144 人 （4 年生）
	具志川小学校	・令和元年9月10日（火）	参加者：43 人

		キャリア教育「福祉のお仕事入門教室」 うるま市社協 仲村大志 - 令和元年10月10日（木） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 - 令和元年10月16日（水） アイマスク歩行体験 - 令和元年10月23日（水） 点字学習・体験（点訳工房）	（4年生）
	アミークス インターナショナル 小学校	- 令和元年9月27日（金） 点字学習・体験（点訳工房） - 令和元年10月21日（月） 福祉講話：盲学校教諭 与座健作さん - 令和元年10月25日（金） 点字学習サポート 与座先生へ点字で手紙を書く	参加者：49人 （4年生）
	兼原小学校	- 令和元年10月7日（月） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 - 令和元年10月18日（金） アイマスク歩行体験 - 令和元年11月12日（火） 福祉講話 車イスランナー 喜納翼さん	参加者：125人 （4年生）
	与那城小学校	- 令和元年11月11日（月） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 - 令和元年11月13日（水） アイマスク歩行体験 - 令和元年11月14日（木） 点字学習・体験（点訳工房）	参加者：81人 （4年生）
	宮森小学校	- 令和元年10月30日（水） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 - 令和元年11月19日（火） アイマスク歩行体験	参加者：75人 （4年生）
	高江洲小学校	- 令和元年11月6日（水） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 - 令和元年11月21日（木） アイマスク歩行体験 福祉講話 盲導犬ユーザー山田末子さん	参加者：93人 （4年生）

	天願小学校	・令和元年10月9日（水） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 ・令和元年10月31日（木） アイマスク歩行体験 ・令和元年11月18日（月） 福祉講話 聴覚障がい者 前門恒子さん	参加者：132人 (4年生)
	平敷屋小学校	・令和元年11月26日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 ・令和元年11月26日（火） 点字学習・体験（点訳工房）	参加者：28人 (4年生)
	城前小学校	・令和元年12月3日（火） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 アイマスク歩行体験 ・令和元年12月10日（火） 点字学習・体験（点訳工房）	参加者：72人 (5年生)
	南原小学校	・令和元年11月13日（水） 福祉講話 車いすランナー 喜納翼さん	参加者：301人 (全校生徒)
	中部農林高等学校	・令和元年12月12日（木） 福祉講話 視覚障がい者 上原盛一さん	参加者：14人 (福祉科2年生)
	川崎小学校	・令和2年1月30日（木） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 アイマスク歩行体験 ・令和2年2月6日（木） 福祉講話 盲導犬ユーザー 山田末子さん ・令和2年2月13日（木） 点字学習・体験（点訳工房）	参加者：74人 (4年生)
	中原小学校	・令和2年2月3日（月） 福祉講話 聴覚障がい者 前門恒子さん ・令和2年2月7日（金） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験	参加者：147人 (4年生)

	彩橋小学校	・令和2年1月16日（木） 視覚障がい者の理解体験 アイマスクを着用しての折り紙、食事体験 アイマスク歩行体験 ・令和2年1月22日（水） 点字学習・体験（点訳工房） ・令和2年2月12日（水） 福祉講話 盲導犬ユーザー 山田末子さん	参加者：17人 (4年生)
	赤道小学校	・令和2年2月4日（火） 福祉講話 盲導犬ユーザー 山田末子さん	参加者：90人 (4年生)
	勝連小学校	・令和2年2月25日（火） 点字学習・体験（点訳工房）	参加者：62人 (4年生)
効果	地域の様々な人材との交流や福祉体験学習をととして、互いの人権を尊ぶ福祉意識の醸成を行うことができた。		

イ 体験学習プログラムの提案と実施の協力		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	福祉体験学習をととして、社会連帯の精神を養いながら社会福祉への理解と関心が高まった。		
	・ 福祉教育の充実による人権意識の醸成 ※P8 再掲		
	・ ボランティア体験推進事業		
	平成 31 年度ボランティア・NPO活動体験の説明会の開催	期 日：令和元年 5 月 20 日（月） 参加者：登録 9 団体（10 人）	
効果	平成 31 年度ボランティア・NPO活動体験 広報、受付、運営	受付期間：令和元年 6 月 24 日（月）～ 7 月 1 日（月） 開催期間：令和元年 7 月 29 日（月）～ 8 月 20 日（火） 共催団体：9 団体 応募参加数：延 120 人	
	福祉体験学習をととして、社会連帯の精神を養いながら社会福祉への理解と関心が高まった。		

ウ 福祉学習の機会の拡充、福祉のお仕事勉強会		事業形態	自主事業
		主な財源	—
		サービス区分	—
実施内容	沖縄県福祉人材センターの実施する「福祉のお仕事勉強会」をととして、福祉への理解や関心を図る活動を推進した。 ・田場小学校 期 日：令和元年6月14日（金） 参加者：144人（4年生）		

	・具志川小学校 期 日：令和元年9月10日（火） 参加者：43 人(4 年生)
効果	沖縄県福祉人材センターのキャリア教育「福祉のお仕事入門教室」サポート及び協力を行い、児童生徒の社会福祉への理解と関心が高まった。

② 地域人材の確保と育成

ア 地域と連携した福祉教育の推進 地域づくり支援事業／出前講座「小地域ネットワーク（近隣見守り援助体制）づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	出前講座募集要項の見直しを行い、平成 31 年度の事業を進めたが、講座を利用する団体は無く、出前講座を開催することはできなかった。	
効果	出前講座案内の中で、講座回数の問題や、出前講座の内容を変更した方がいいとの要望があったため、次年度に向け、要項の見直しを行い、見守り隊以外（自主防災組織の活性化等）で地域のニーズに合った講座を展開できるようにしている。令和 2 年度は目標数値である年間 4 地区を達成できるよう各自治会等と連携し、事業を進めていきたい。	

イ 各種分野との連携と協力体制づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。 ・関係機関とのケース検討会議 80 回 ・関係機関との連絡会の開催 196 回	
効果	必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を行った。 （地域カンファレンス・包括支援センター連絡会・各種関係機関との連絡会ならびに個別支援会議等）	

ウ 企業、福祉施設との連携と協力体制づくり 地域づくり支援事業／地域見守りネットワーク事業	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	必要な情報の提供ならびに意見交換会を行うため、連絡会を実施した。 ・令和元年 6 月 14 日（金） 救急救命講習（うるま市消防本部）、意見交換会ならびに情報共有 参加者：8 人 ・令和元年 11 月 1 日（金） 講話：障がい者に対する理解と対応について（新垣恵美子氏） 参加者：15 人 ・地域見守りネットワーク活動協定に基づく相談ならびに対応：2 件	
効果	11 月連絡会の開催を行うにあたり参加人数の増加を目的として、連絡会開催の周知方法について見直しを行った。令和 2 年度に向け、連絡会の定期開催と同時に協定事業所を増やす等、事業の強化・発展を行いたい。	

③ 民生委員・児童委員の活動支援

	事業形態	自主事業
--	------	------

ア 個々の民生委員・児童委員の活動支援		主な財源	—
		サービス区分	—
実施内容	地域の身近な相談相手として民生委員・児童委員の活動を支援した。		
効果	個々の民生委員・児童委員の相談支援の負担感の軽減による担い手の安定確保に取り組んだ。		

イ 民生委員児童委員協議会との協働による地域活動推進 ①こいのぼり掲揚式、児童福祉週間イベント ②民生委員児童委員協議会への助成及び活動支援		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	①次世代を担う子ども達が心身ともに健やかに育つことを社会全体で願うと共に、児童福祉の理念と福祉意識の高揚を図ることを目的に各民生委員児童委員協議会と協働事業を実施。基幹福祉圏域ごとに保育所・園参加のもとこいのぼり掲揚等の行事を企画・実施した。 期日 4月23日（火） 石川地区（石川民児協） 参加者：405人 期日 4月24日（水） 具志川地区（具志川東西民児協） 参加者：60人 期日 4月25日（木） 与那城地区（与那城民児協） 参加者：330人 期日 4月26日（金） 勝連地区（勝連民児協） 参加者：306人 ②市及び基幹福祉圏域ごとの担当職員を配置し、民生委員児童委員協議会の主体性を尊重し、協働して地域福祉を推進した。		
	市民児協定例会等の活動支援	役員会 期日 平成31年4月15日（月）ほか全11回開催 総会 期日 令和元年5月21日（火） 評議委員会 期日 平成31年4月22日（月）	
	市民児協年間行事の活動支援	民生委員・児童委員の日活動強化週間出発式 期日 令和元年5月13日（月） 場所 健康福祉センターうるみん 民生委員・児童委員一斉改選に向けた意見交換会 期日 令和元年6月5日（水） 場所 うるま市役所東棟庁議室 主任児童委員連絡会 第1回 期日 令和元年7月17日（水） 場所 健康福祉センターうるみん 第2回 期日 令和元年10月24日（木） 場所 健康福祉センターうるみん 民生委員・児童委員活動PR 期日 令和元年7月26日（金） 場所 FMうるま 市民児協親睦会（グラウンドゴルフ交流会） 期日 令和元年11月13日（水） 場所 勝連総合グラウンド 民生委員・児童委員厚生労働大臣委嘱状、感謝状伝達式並びに知事委嘱状交付式 期日 令和元年12月5日（木） 場所 沖縄市民会館 市民生委員・児童委員研修会 期日 令和2年1月21日（火） 場所 うるま市役所	

	内容「民生委員・児童委員のためのストレスマネジメント」 新年交流会 期日 令和2年1月30日（木） 場所 健康福祉センターうるみん 民生委員・児童委員の担い手確保に向けた意見交換会 期日 令和2年2月3日（月） 場所 うるま市役所			
単位民児協の活動支援	勝連民児協			
		定例会	役員会	活動
	4月	10日	1日、26日	22日 紙兜づくり・掲揚式の諸準備 26日 こいのぼり掲揚式
	5月	10日		10日 総会・こいのぼり片付け 13日 民生委員児童委員活動強化週間 出発式 13日 街頭広報チラシ配布 21日 市民児協総会
	6月	10日	3日	10日 施設見学（与勝病院・緩和ケア 見学）
	7月	10日	1日	
	8月	9日	1日	
	9月	9日	2日	要援護者見守り訪問活動
	10月	10日	1日	9日 沖縄県福祉大会 10日 施設見学学習研修 26日 赤い羽根共同募金街頭募金活動
	11月	13日	1日	24日 赤い羽根共同募金街頭募金活動 27日 福祉まつり準備 30日 福祉まつり
	12月	20日	2日 27日	
	1月	10日		17日 中部地区民生委員児童委員研修大会
	2月	10日	3日、28日	19日 沖縄県民生委員児童委員大会
	3月	9日		
	与那城民児協			
		定例会	役員会	活動
	4月	11日	2日	25日 こいのぼり掲揚式
	5月	9日	7日	25日 お父さん、お母さんありがとうの 集い準備 26日 お父さん、お母さんありがとうの 集い
	6月	6日	3日	6日 総会
	7月	11日	2日、30日	
	8月	1日		22日 夜間パトロール
	9月	5日	2日	
	10月	3日	1日	27日 赤い羽根共同募金街頭募金活動
	11月	7日	1日	24日 赤い羽根共同募金街頭募金活動
	12月	10日	2日	10日 年末交流会・退任者激励会
	1月	9日	6日	
	2月	6日	5日	
3月	5日	3日		

具志川東民児協			
	定例会	役員会	活動
4月	8日	16日、24日	24日 児童福祉週間イベント
5月	7日	27日	7日 総会 15日～18日 児童福祉週間挨拶運動 13日 児童福祉週間イベント振返り会議
6月	7日	24日	
7月	8日	29日	
8月	7日	26日	
9月	9日	30日	
10月	7日	28日	赤い羽根共同募金運動 21日～23日 東・西合県外研修会 神奈川県座間市との交流会
11月	7日	25日	30日 福祉まつり
12月	9日	23日	歳末たすけあい運動
1月	7日	27日	30日 新年交流会
2月	7日	28日	7日 スクールソーシャルワーカーとの勉強会
3月	9日	30日	9日 児童福祉週間イベント打合せ会議
具志川西民児協			
	定例会	役員会	活動
4月	8日	24日	24日 児童福祉週間イベント
5月	7日	24日	7日 総会 7日 中原小学校教員との情報交換会 7日～10日 児童福祉週間挨拶運動 13日 児童福祉週間イベント振返り会議
6月	7日	28日	
7月	8日	26日	8日 単位研修 (家庭裁判所における 家事事件の解決方法について) 30日 兼原小学校教員との情報交換会
8月	7日	23日	
9月	9日	27日	
10月	7日	25日	21日～23日 具志川東・西合同県外研修 神奈川県座間市との交流
11月	7日	19日	30日 福祉まつり
12月	9日	23日	
1月	7日	24日	30日 市民協新年交流会
2月	7日	28日	
3月	9日	27日	9日 単位研修（活動報告書記入勉強会） 9日 児童福祉週間イベント打ち合わせ会議
石川民児協			
	定例会	役員会	活動
4月	9日	2日	8日～12日 あいさつ運動 10日～11日 新1年生児童館へのお迎え 23日 こいのぼり掲揚式 27日 楽寿園裁断活動
5月	14日	7日	14日 総会 14日 子供遊び場危険箇所点検 25日 楽寿園裁断活動
6月	11日	5日	3日～ 放課後子ども教室（宮森小） 4日～ 毎週火曜日（宮森小）

					22日 楽寿園裁断活動
		7月	9日	2日	19日 石川ビーチ清掃ボラ 24日 中部電協事前調査 27日 楽寿園裁断活動
		8月	13日	6日	7日 中部電協工事立ち合い 24日 楽寿園裁断活動 26日～30日 あいさつ運動
		9月	10日	3日	28日 楽寿園裁断活動
		10月	8日	1日	25日 楽寿園裁断活動
		11月	12日	5日	29日 まつり準備 30日 福祉まつり 21日 城前っ子花植え付け 27日 楽寿園裁断活動
		12月	10日	3日	
		1月	14日	7日、28日	
		2月	4日		
		3月	開催 なし	3日、10日、 17日、24日	
効果	①民生委員、保育所・園、社協との接点ができることで、それぞれの顔の見える関係づくりとお互いの連携づくりにつながった。その事で児童福祉の理念と福祉意識の高揚を図ることができた。 ②民児協会運営の支援による事務業務の円滑化と市及び単位民児協役員の負担軽減を行うことができた。				

計画2 自治会の活性化支援

① 自治会への加入、地域活動への参加促進

ア 社協だより、ホームページ等の充実		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	法人運営事業
実施内容	1. ホームページ http://www.uruma-shakyo.net/ 最新トピックス更新回数 16回 2. 社協だより 発行回数 1回（3月発行 No. 21） 発行部数 40,000部		
効果	ホームページについては、トピックス等の更新回数を増やし、住民への情報発信を行うことができたが、社協だよりの発行が1回に留まったため、発行回数を計画どおり実施するため取組み方法の改善が必要。		

② 自治会の活性化支援

《事業名》		事業形態	自主事業
ア 小地域福祉ネットワーク活動の推進 地域づくり支援事業／出前講座「小地域ネットワーク（近隣見守り援助体制）づくり		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	出前講座募集要項の見直しを行い、平成31年度の事業を進めたが、講座を利用する団体は無く、出前講座を開催することはできなかった。		
効果	今年度出前講座案内の中で、講座回数の問題や、出前講座の内容を変更した方がいいとの要望があったため、次年度に向け、要項の見直しを行い、見守り隊以外（自主防災組織の活性化等）で地域のニーズに合った		

	講座を展開できるようにしている。令和 2 年度は目標数値である年間 4 地区を達成できるよう各自治会等と連携し、事業を進めていきたい。
--	---

イ 福祉協力会の支援		事業形態	自主事業
		主な財源	社協会費
		サービス区分	法人運営事業
実施内容	福祉協力会助成金の支給 具志川 30 地区 1,777,944 円 石川 17 地区 494,800 円 勝連 6 地区 254,400 円 与那城 11 地区 325,000 円 合計 64 地区 2,852,144 円		
効果	各協力会の福祉活動への取組みに対してサポート体制の構築が出来ていないため、活動に差があるように感じる。独自の主体的な福祉活動に発展している協力会をクローズアップし、他の協力会へ情報発信などを行うなどの取組みが必要。		

③ 自治会間の連携支援

ア 地域づくり支援事業（地区事業）		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	地域の地理的条件や特徴を踏まえて、ニーズに基づく事業や地域で活動する人々の交流や研修の機会を作り、活動の充実と市内全域への広がりを図ることを目的に地区事業を開催した。 ・石川地区： 期日 令和元年 9 月 19 日（木） 場所 石川地区公民館 内容 当該地区の「治安・防犯」 石川警察署による講話と意見交換会 参加者 50 名 ・具志川地区 期日 令和元年 12 月 24 日（火） 場所 健康福祉センターうるみん 内容 当該地区の「災害」 防災士：稲垣暁氏による講話 参加者 64 名 ・勝連・与那城地区： 期日 令和 2 年 1 月 16 日（木） 場所 勝連シビックセンター 内容 「認知症高齢者・こどもの貧困」 動画鑑賞ならびに意見交換会 参加者 28 名		
効果	各地域の課題に応じた講座を行うことができ、また事業終了後も自治会活動の中で同様のテーマについて引き続き課題として考える自治会もあり、各自治会の課題に対する意識の高さを感じることができた。同じテーマでも各地域抱えている課題は違うため、出前講座等を活用し解決に向け引き続き支援していきたい。		

	事業形態	市受託事業
--	------	-------

イ 生活支援体制整備事業		主な財源		市受託金			
		サービス区分		生活支援体制整備事業			
実施内容	独居や高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず、民間企業や協同組合、社会福祉法人、地域、地縁組織・団体と連携しながら多様な日常生活上の支援体制の充実と高齢者の社会参加の推進を一体的に図った。						
	ア 地域の高齢者支援のニーズと資源の見える化及び問題提起						
	生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志川 2	石川	計
	地域まわり	114 件	116 件	64 件	74 件	70 件	438 件
	ミニサービス	36 件	55 件	14 件	50 件	29 件	184 件
	サロン活動	5 件	4 件	5 件	25 件	9 件	48 件
	サークル活動	8 件	3 件	4 件	19 件	12 件	46 件
	見守り活動	0 件	0 件	9 件	4 件	0 件	13 件
	ニーズ把握	7 件	11 件	20 件	1 件	8 件	47 件
	計	170 件	189 件	116 件	173 件	128 件	776 件
	イ 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ						
	生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志川 2	石川	計
	自治会等	14 件	12 件	16 件	7 件	7 件	56 件
	ボランティア	14 件	0 件	2 件	18 件	0 件	34 件
	単位老人クラブ	15 件	0 件	9 件	1 件	14 件	39 件
	民生委員	13 件	41 件	6 件	0 件	2 件	62 件
	サロン活動	2 件	0 件	9 件	7 件	1 件	19 件
	サークル活動	11 件	0 件	11 件	5 件	2 件	29 件
	見守り活動	2 件	1 件	3 件	0 件	0 件	6 件
	民間事業者	12 件	6 件	18 件	10 件	6 件	52 件
	計	83 件	60 件	74 件	48 件	32 件	297 件
	ウ 関係者のネットワーク化						
	生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志川 2	石川	計
	包括支援センター	38 件	8 件	16 件	9 件	6 件	77 件
	関係機関（行政含）等	25 件	9 件	14 件	7 件	1 件	56 件
コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーター等	41 件	6 件	42 件	24 件	9 件	122 件	
見守り活動団体	5 件	2 件	16 件	10 件	23 件	56 件	
地域情報交換会	26 件	3 件	10 件	3 件	3 件	45 件	
市・単位老人クラブ	2 件	1 件	7 件	6 件	1 件	17 件	
計	137 件	29 件	105 件	59 件	43 件	373 件	
※自立支援型ケア会議							
※地域包括支援センターとの連絡会（各地区 1 回/2 か月）							
エ 生活支援サービスの担い手の養成及びサービスの開発							

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志川 2	石川	計
サロン・地域活動実 施の働きかけ	3 件	8 件	14 件	1 件	0 件	26 件
見守り・送 迎・買い物	4 件	3 件	2 件	5 件	1 件	15 件
計	7 件	11 件	16 件	6 件	1 件	41 件
オ 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動マッチング						
生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志川 2	石川	計
サロン・サークル等立 ち上げ支援 (サービス提供主 体へのつなぎ 含)	4 件	9 件	20 件	3 件	0 件	36 件
事業所等とサ ービス提供主体	3 件	3 件	22 件	1 件	2 件	31 件
計	7 件	12 件	42 件	4 件	2 件	67 件
カ 情報提供の場、働きかけの場						
生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志第 2	石川	計
協議体の設置・ 開催 (第二層)	2 件	3 件	2 件	1 件	5 件	13 件
協議体設置に向 けての働きかけ	15 件	69 件	65 件	19 件	33 件	201 件
サロン登録、立上 げ	9 件	3 件	2 件	2 件	2 件	18 件
サロン活動支援	0 件	1 件	5 件	6 件	0 件	12 件
サークル活動支援	3 件	3 件	5 件	5 件	1 件	17 件
百歳体操利用支 援	1 件	9 件	41 件	15 件	0 件	66 件
高齢者交流サロン	0 件	2 件	8 件	23 件	4 件	37 件
計	30 件	90 件	128 件	71 件	45 件	364 件
キ その他						
生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志第 2	石川	計
企画検討・調 整・準備	10 件	6 件	30 件	7 件	5 件	58 件
第三層協議体	0 件	0 件	15 件	7 件	16 件	38 件
計	10 件	6 件	45 件	14 件	21 件	96 件

	○第一層協議体 期日 令和2年2月5日（水） 場所 うるま市役所本庁 東棟2階 参加者 26名 内容 委員委嘱状交付、事業及び協議体説明、第二層協議体実施報告 ○第二層合同協議体 期日 令和元年年7月4日（木） 場所 健康福祉センターうるみん 参加者 186名 内容 講演
効果	地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア等を担い手とした生活支援サービスの資源開発、サービス提供主体間のネットワーク構築、地域課題の解決や地域資源の開発等に向けた協議体の設置を推進した。

計画3 ボランティア活動の拡充

① ボランティアの養成

ア ボランティアの養成		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	住民のニーズ把握と必要なボランティアの養成。次世代を担う子ども達がボランティアを身近に感じ、気軽に参加できるよう、生徒に対しボランティア活動への参加や体験学習への取組みを行った。 また、ボランティア活動を行っている若しくは関心のある住民に講座を開催した。 内容 助成金申請書の書き方講座 期日 令和1年10月4日（金） 参加者 32名		
効果	夏のボランティア体験では、参加した子ども達が体験終了後もボランティア活動に興味を持ち取組むなどボランティア活動を身近に感じる機会が作れた。 また、講座の開催は、ボランティア活動者やボランティア活動に関心のある住民に、活動のための財源確保に向けて情報の発信ができた。		

② ボランティアセンターの体制、機能の充実及びコーディネーターの配置

ア ボランティアコーディネーターの配置		事業形態	市受託事業
		主な財源	委託費
		サービス区分	ボランティアセンター運営事業
実施内容	ボランティアコーディネーター：2名配置 1. ボランティア活動に関する相談・登録・斡旋		
			件数（人数）
	相談		56件
	平成31年度新規登録		団体数：2団体（10名） 個人数：19名

	現在の登録者数： (延：3月末現在)	延 74 団体 3,494 名	
	依頼	58 件	
	幹旋	589 名	
	2. ボランティア活動に関する情報の収集・提供		
		件数	
	情報収集・提供	300 件	
	3. ボランティア活動に関する広報・啓発 159 件 (952 名)		
	①ボランティア募集に関する広報		
	依頼先	件数	
	依頼先	件数	
市行政	3	児童関係団体・施設	9
自治会関係	24	障がい関係団体・施設	0
学校	100	高齢者関係団体・施設	2
保育園	0	その他	3
地域団体	14	個人	4
あやはしトライアスロン大会、2019 年度ウォーク＆クリーン、おきなわマラソン、うるま市身体障がい者協会の行事サポート、うるま市内児童館・保育園・高齢者施設や各種地域団体の行事サポート、サークル活動サポート、行事等の託児サポート、自治会学習支援サポート等			
②助成金の情報提供			
コープおきなわ、りゅうぎんユイマール助成金			
キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」			
車両競技公益資金記念財団、中央競馬馬主社会福祉財団			
N T T ドコモ市民活動団体助成事業			
4. ボランティア活動に関する調査・研究			
・中部地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア部会 11 回			
・令和元年度市町村ボランティア担当者研究協議会			
・地域防災訓練実施の発表会			
・災害に強い村づくり講座			
・地域学校協働活動参加についての講演会			
・浦添市福祉教育活動実践報告会			
・ボランティアコーディネーター養成講座			
・生活支援体制整備事業石川地区第二層協議体 3 回			
効果	ボランティアセンターを設置し、ボランティアコーディネーターを配置することで、市民のボランティア活動に関する理解と関心を高め、市民ボランティア活動の育成・援助するとともに、各種活動に参加しやすい体制整備を支援する等の活動をとおり、地域における福祉コミュニティの形成を図ること目指して活動を推進できた。		

③ ボランティアサロンの設置及びボランティア活動支援の充実

	事業形態	自主事業
--	------	------

ア ボランティアサロンの設置		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	ボランティア団体・個人等の活動拠点、交流や協働の場としてサロンスペースを確保し設置した。 場所 健康福祉センターうるみん2階デイサービス室 開所日 毎週水・金曜日		
効果	ボランティアサロン設置要綱を整備し、ボランティア連絡協議会と運用の方法等について協議を重ね、ボランティア活動の拠点を設けることができた。		

イ ボランティア団体への助成と活動支援		事業形態	自主事業
		主な財源	共同募金配分金
		サービス区分	共同募金配分金事業
実施 内容	1. ボランティア団体等の組織化・活動に関する支援 ①ボランティア団体活動支援助成事業		
	ボランティア団体への広報	応募期間：平成31年4月1日（月）～ 平成31年4月26日（金）	
	ボランティア団体活動支援助成事業選考委員会の開催	第1回： 期日 令和元年5月15日（水） 内容 申請団体の書類審査 7団体 第2回： 期日 令和元年5月29日（水） 内容 公開プレゼンテーションによる審査及び 最終選考会 決定 7団体	
	申請団体による公開プレゼンテーションの開催	期日 令和元年5月29日（水） 発表 4団体	
	ボランティア団体活動支援助成事業の案内	市広報への掲載、ホームページへの掲載、 募集期間 平成31年4月1日（月）～ 平成31年4月26日（金）	
	ボランティア講座の開催 「助成金申請書の書き方」	期日 令和元年10月4日（金） 講師 キリン福祉財団副事務局長 佐々木哲生氏 参加者 32名	
	②ボランティア団体・個人への活動に関する支援 ア 沖縄県身体障がい者福祉大会・福祉事業功労者表彰受賞 大会期日 令和元年11月30日（土） 受賞団体 4団体 朗読ボランティア すだち 点字サークル 点訳工房 リーディングサービス いしかわ相思樹の会 手話サークル うるま うるま市長表敬訪問 期日 令和2年1月16日（木）		

イ 厚生労働大臣ボランティア功労者表彰受賞

厚生労働大臣伝達式

期日 令和元年12月19日（木）

場所 沖縄県庁

受賞団体 1団体

点字サークル点訳工房

うるま市長表敬訪問

期日 令和2年3月26日（木）

ウ うるま市福祉大会特別功労者表彰受賞

大会期日 令和2年2月11日（火）

受賞団体 1団体

発達障がい「知る・つながる会」ニヌファスター

エ 令和元年度「助成金申請書の書き方」講座

期日 令和元年10月4日（金）

参加者 32名

③うるま市ボランティア連絡協議会への活動支援

理事会等の活動支援

理事会

期日 令和元年 6月11日（火）

期日 令和元年 9月17日（火）

期日 令和元年10月25日（火）

期日 令和元年11月19日（火）

総会

期日 令和元年 5月13日（月）

監査委員会

期日 平成31年 4月23日（火）

役員会

期日 平成31年 4月10日（水）

期日 令和元年 5月 8日（水）

期日 令和元年 6月 4日（火）

期日 令和2年 3月 6日（火）

	年間行事の活動支援	ア) 視察研修会の実施 期日 令和元年7月9日（火） 内容 石川浄水場. 具志川消防署 交流・情報交換 参加者 17名 イ) 講演会の実施 期日 令和元年10月15日（火） 内容 「食と健康について」 講師 株式会社 むちま〜す 代表取締役 高安正勝 氏 参加者 29名 ウ) うるま市福祉まつりへの展示・参加 期日 令和元年11月30日（土） エ) ボランティア年末交流会 期日 令和元年12月10日（火） 参加者 64名		
④ ボランティア保険の加入促進				
ボランティア活動保険		44 件（423 名）		
ボランティア行事用保険		17 件（1,625 名）		
⑤ 善意銀行活動・フードドライブ窓口の設置				
善意銀行活動受付		10件：乳幼児用紙おむつ、カット綿、冷蔵庫等。 提供先：高齢者施設や児童デイサービス等。		
フードドライブ受付		20件：お米・缶詰等。 提供先：こども食堂・支援団体、地域包括支援センター等。		
⑥ ボランティア活動・福祉教育等に必要な資材の貸与				
プロジェクター		IC レコーダー	DVD 福祉教材	アイマスク
17 件		3 件	4 件	22 件
モニター ケーブル		その他	点字板	デジタルカメラ
2 件		7 件	14 件	9 件
効果	ボランティア団体活動助成金をとおして、各ボランティア団体の創意工夫した取組みが推進できた。			

④ ボランティア推進月間における取組みの推進

ア ボランティア活動体験や入門講座、研修等の 機会の拡大	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	ボランティア体験推進事業	
	平成 31 年度ボランティア・NPO 活動体験の説明会の開催	期日 令和元年 5 月 20 日（月） 参加者 登録 9 団体（10 名）
	平成 31 年度ボランティア・NPO 活動体験 広報、受付、運営	受付期間：令和元年 6 月 24 日（月）～ 7 月 1 日（月） 開催期間：令和元年 7 月 29 日（月）～ 8 月 20 日（火） 共催団体： 9 団体 応募参加数：延 120 名
効果	ボランティア団体との協働により、活動への理解と自分たちの住んでいる地域への愛着を育むため、多くの子ども達にボランティア体験の機会を提供できた。	

目標 2 人と人が「支え合う」ための地域環境づくり

計画 1 地域福祉推進のための住民参加の仕組みづくり

① 小地域福祉ネットワークの組織化と育成支援

ア 小地域福祉ネットワーク活動の支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	組織化している小地域ネットワーク（見守り隊等）については、定例会への参加ならびに、気になる世帯への同行訪問等、活動支援を継続することができた。出前講座募集要項の見直しを行い、平成 31 年度の事業を進めたが、講座を利用する団体は無く、出前講座を開催することはできず、新規に組織化を行うことはできなかった。	
効果	既存の組織について日頃の活動支援を行うことで、小地域福祉活動の活性化につながった。	

② コミュニティソーシャルワーカーの配置

ア コミュニティソーシャルワーカーの専門性の向上と各種専門相談機関との連携強化	事業形態	市受託事業
	主な財源	市補助金、市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業
実施内容	個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。また、専門性の向上を目的として各種研修等への参加を行った。 ・関係機関とのケース検討会議 80 回 ・関係機関との連絡会の開催 196 回 ・各種研修会への参加 16 回	
効果	多職種連携による個別支援・地域支援の展開ができた。	

計画 2 人と人とのつながりづくり

① 地域の居場所づくりの推進

ア ふれあい・いきいきサロンづくりの支援と助成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金

		サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	ふれあい・いきいきサロンの活動支援や活動費助成による、地域で暮らす住民同士が安心して集える居場所づくりや人と人とのつながりをつくった。 1. 登録サロン： 全 20 サロン 【勝連地区】 和(ま-る)の会（勝連南風原） 仲ゆくい（勝連南風原） 【与那城地区】 ナーグスクスンチナーグループ（与那城宮城） クローバー（与那城屋慶名） 与那城西原ゆんたく会（与那城西原） 【具志川第1地区】 ニヌファスター（みどり町五・六丁目） ティーパーティー1030（宇堅） スマイルプロジェクト（みどり町三・四丁目） 松原ゆんたく会（大田） 【具志川第2地区】 ゆんたく広場えんじえる（赤道） 塩屋ふれあいサロン(塩屋) いーてらがーまちやーぐわ（上平良川） 上平良川睦の会（上平良川） 【石川地区】 ひまわりクラブ（曙） いきいきサークル（港） ゆんたく広場さくらんぼ（港） 健康体操サークル（南栄） 宮前区貯筋会サークル（宮前） 県営石川第二団地自治会（嘉手苅） 東恩納区体操サークル（東恩納） 2. 活動助成の実施：3 サロン スマイルプロジェクト（みどり町三・四丁目） いーてらがーまちやーぐわ（上平良川） 上平良川睦の会（上平良川）		
効果	住民同士のつながりを基盤とした住民による多様な居場所づくりを推進し、活性化できた。		

イ 子どもの居場所づくりの支援と助成	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	住民同士のつながりを基盤とした子ども達が安心して生活ができる地域の居場所づくりの推進とその活動を支援した。 1. 登録サロン：全4サロン 【具志川第1地区】 田場公民館子どもの居場所（田場） みどり町三・四丁目子ども育成会（みどり町三・四丁目） 英会話クリスティーナ教室（川崎） 【石川地区】 トゥーナーズ（嘉手苺：県営石川第二団地自治会） 2. 活動助成の実施：3サロン 田場公民館子どもの居場所（田場） みどり町三・四丁目子ども育成会（みどり町三・四丁目） 英会話クリスティーナ教室（川崎）
効果	貧困家庭の孤立防止と子ども達の健やかな成長を地域で支える環境づくりへつながった。

ウ 多様な住民のためのフリーサロンづくりの支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	多様な生活課題を抱えた住民が社会的孤立に陥ることなく、安心して過ごすことのできる居場所をボランティアサロンとの共有で設け、人と人とのつながりや社会貢献活動にふれる体験をとおして、課題解決や社会参加を促進するため、検討を進めた。	

② 地域での交流機会の支援

ア ミニデイ推進員ふれあい交流会 (ボランティア交流会)	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	地域で頑張っている推進員を中心に交流・研修する機会を設け、ミニデイ活動の更なる充実強化を図ることを目的とする。 「ミニデイで楽しもう！レクリエーション」（体操・ゲーム・実践等） 期日 令和元年11月18日（月） 場所 健康福祉センターうるみん 参加者 47地区より160名	
効果	推進員の交流と、情報共有の場になった。	

イ 各基幹福祉圏域での研修会、情報交換会等の実施（地区事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	地域の地理的条件や特徴を踏まえて、ニーズに基づく事業や地域で活動する人々の交流や研修の機会を作り、活動の充実と市内全域への広がりを図ることを目的に地区事業を開催した。（再掲） ・石川地区： 期日 令和元年9月19日（木） 場所 石川地区公民館 内容 当該地区の「治安・防犯」石川警察署による講話と意見交換会 参加者 50名 ・具志川地区	

	期日 令和元年 12 月 24 日（火） 場所 健康福祉センターうるみん 内容 当該地区の「災害」防災士：稲垣暁氏による講話 参加者 64 名 ・勝連・与那城地区： 期日 令和 2 年 1 月 16 日（木） 場所 勝連シビックセンター 内容 「認知症高齢者・こどもの貧困」動画鑑賞ならびに意見交換会 参加者 28 名 ※17 再掲
効果	各地区の課題やニーズが反映された情報発信やグループワークを行うことで、地域の実践につながった。

③ 福祉団体の主体的活動支援

ア 団体への助成と活動支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金 社協会費
	サービス区分	共同募金配分金事業 法人運営事業
実施内容	活動助成金総額 4,098,000 円 うるま市民生委員児童委員協議会 1,056,000 円 うるま市老人クラブ連合会 450,000 円 うるま市身体障がい者協会 450,000 円 うるま市母子寡婦福祉会 450,000 円 うるま市ボランティア連絡協議会 150,000 円 うるま市手をつなぐ育成会 222,000 円 うるま市自治会長連絡協議会 120,000 円 うるま市福祉まつり実行委員会 1,200,000 円	
効果	各団体の活動資金として助成金が十分に生かされていると思われ、今後 も必要な事業と考える。	

イ 各団体の主体的活動と活性化のための相談、助言	事業形態		自主事業
	主な財源		共同募金配分金
	サービス区分		共同募金配分金事業
実施内容	1. うるま市老人クラブ連合会		
	団体名	活動内容（主催事業等）	参加人数等
	市老人クラブ連合会	役員会（13 回） 理事会（7 回） 専門部会（7 回）等 第 13 回うるま市老人クラブ大会	延参加者：195 名 参加者：400 名
		シニア学級、慰労会、芸能大会、意見発表大会、ボウリング大会、年末交流会 シニアゴルフ大会 歳末資金造成チャリティーGG 大会（4 支部で実施）	延参加者：539 名

			中部（17件）県（4件）全国（2件）事業参加	延参加者：483名
		市老人クラブ連合会 具志川支部	役員会（17回） 評議員会（11回） 専門部会（35回） 支部主催囲碁大会（2回） 資金造成チャリティーGG大会 野菜品評会（2回） リーダー宿泊研修、長寿学園、レク カチャーシー大会、カラオケ大会、 新春懇親会、研究発表会、生き生き 美術展、他 趣味クラブ活動（22 趣味クラブ） 具志川支部大会 新1年生交通安全お守り配布 （配布：9校 870個） 市・中部・県事業へ参加（24回）	延参加者：740名 延参加者：4,796名 延参加者：452名
		市老人クラブ連合会 石川支部	役員会（13回） 評議員会（12回） 新1年生交通安全お守り配布 （配布：3校 289個） 新年度朝のあいさつ運動（3小学 校、2中学校）（2回） ゲートボール場の草刈作業（6回） 楽寿園との交流会（8回）、新旧歓 送迎会、高校生とのふれあい授業 （5単位クラブ）GG大会（3回）、 趣味クラブ部舞台発表会、GB大会 （5回）作品展示会、支部評議員忘 年会、支部新春交流会、支部リーダ ー研修会、敬老ボウリング大会 石川支部大会 女性委員会活動 施設訪問、作品展示会 関連団体への協力（22回） 市・中部・県事業へ参加（18回）	参加者：33名 延参加者：225名 参加女性委員： 8名 延参加者：240名 延参加者：2,838名 参加者：210名 参加者：210名 延参加者：409名
		市老人クラブ連合会 勝連支部	役員会（11回） 評議員会（12回） 専門部会議（2回） 勝連支部大会	延参加者：40名延 参加者：95名 延参加者：143名 参加者：68名

			支部ゲートボール大会、カラオケ交流会 1 回、勝連与那城交流ボウリング大会、ゴルフ大会	延参加者： 314 名	
			市・中部・県事業へ参加（12 回）		延参加者：141 名
			市老人クラブ連合会 与那城支部	役員会（12 回）評議員会（12 回） 代議員会（1 回）	延参加者：104 名
				新旧歓送迎会、勝連与那城交流ボウリング大会、レク・忘年会、資金造成 GG 大会	延参加者： 155 名
				与那城支部大会 5/29（水） 新 1 年生交通安全お守り作り （配布：2 校他 122 個） 友愛訪問 市・中部・県事業へ参加(13 回)	
2. うるま市身体障がい者協会 理事会 期日 令和元年 4 月 22 日（月）運営支援 第 13 回定期総会 期日 令和元年 5 月 19 日（日）運営支援 第 55 回沖縄県身体障害者スポーツ大会業務調整会議 期日 令和元年 8 月 21 日（水） 第 55 回沖縄県身体障害者スポーツ大会結団式 期日 令和元年 9 月 27 日（金） 第 55 回沖縄県身体障害者スポーツ大会フライングディスク競技活動支援 期日 令和元年 9 月 14 日（土） 第 55 回沖縄県身体障害者スポーツ大会活動支援 期日 令和元年 10 月 5 日（土）					
3. うるま市母子寡婦福祉会 第 29 回母と子の楽しい運動会活動支援 期日 令和元年 4 月 28 日（日） 場所 具志川総合体育館					
効果	活動支援により福祉団体の自主的・主体的な活動と組織運営につながった。				

計画 3 住民等の地域福祉活動の推進

① 市内の社会福祉法人の連携支援（地域貢献の推進）

ア 福祉まつりや社会福祉大会等での実践発表の場づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	福祉まつりとにこにこキッズフェスティバルを同時開催した。	
効果	まつりに参加する団体の社会貢献の実践紹介の機会となった。	

イ 座談会や懇話会の開催による情報の共有及び提供	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業

実施内容	うるま市内で活動する社会福祉法人が一堂に会し、それぞれの活動について理解を深めるとともに、うるま市にある地域ニーズを共有し、互いに地域と協働しながらできることを模索する契機となることを目指し、「社会福祉法人ネットワーク懇談会」を実施した。 期日 令和2年2月18日（火） 場所 健康福祉センターうるみん 参加者 うるま市を拠点とする社会福祉法人の 管理者若しくは公益的取組み担当者等 内 容 ① うるま市における地域（福祉）課題に関すること ② 「地域における公益的取組み」に関すること
効果	複雑多様化する地域課題に対し、市内の社会福祉法人が一堂に会する機会を持ち、地域課題の共有を行うことで、社会福祉法人の「地域における公益的な取組み」に向けた連携を確認する機会となった。

② 地域住民の地域福祉活動促進と支援

ア ボランティア交流会	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金、市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業 生活体制整備事業
実施内容	住民が、地域活動に関心を持ち、積極的に取組めるよう市全域及び基幹福祉圏域、行政区ごとの実情を把握し、実践報告会や地域交流会、協議体等に取組んだ。 地域福祉活動報告会： 市内で地域福祉活動に取り組んでいる団体の活動紹介ならびに活動が市内全域に広がることを目的として活動報告会を開催し、意見交換会をととして住民同士の活動にあたっての情報交換の場を設けた。	
効果	子どもの居場所づくりの取組みを推進希望する地域が増えてきた。	

イ 活動報告会、地区事業、協議体など地域活動の普及啓発を目的とした研修会・懇談会の実施	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金、市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業、生活体制整備事業

実施内容

1. 地域福祉活動報告会

市内で地域福祉活動に取り組んでいる団体の活動紹介ならびに活動が市内全域に広がることを目的として活動報告会を開催した。

期日 令和2年1月29日(水)

場所 健康福祉センターうるみん

内容 こどもの居場所
活動報告ならびに小グループによる意見交換会

報告者 3団体
田場区自治会
b&g うるまわいど
宮城児童館

ファシリテーター 宮道喜一氏

参加者 116名

2. 地区事業

地域の地理的条件や特徴を踏まえて、ニーズに基づく事業や地域で活動する人々の交流や研修の機会を作り、活動の充実と市内全域への広がりを図ることを目的に地区事業を開催した。

・石川地区：期 日 令和元年9月19日(木)

場 所 石川地区公民館

内 容 当該地区の「治安・防犯」
石川警察署による講話と意見交換会

参加者 50名

・具志川地区：期 日 令和元年12月24日(火)

場 所 健康福祉センターうるみん

内 容 当該地区の「災害」
防災士：稲垣暁氏による講話

参加者 64人

・勝連・与那城地区：

期 日 令和2年1月16日(木)

場 所 勝連シビックセンター

内 容 「認知症高齢者・こどもの貧困」
動画の鑑賞ならびに意見交換会

参加者 28人

※P17 P27～28 再掲

3. 生活支援体制整備事業（協議体）

生活圏域 実施内容	勝連	与那城	具志川 1	具志第 2	石川	計
協議体の設置・開催（第二層）	2件	3件	2件	1件	5件	13件
協議体設置に向けての働きかけ	15件	69件	65件	19件	33件	201件
企画検討・調整・準備	10件	6件	30件	7件	5件	58件
第三層協議体	0件	0件	15件	7件	16件	38件

※P18～19 再掲

効果	地域住民が福祉活動に関心を持つきっかけとなり、住民福祉活動に広がりが出てきた。
----	---

③ 小地域福祉ネットワーク活動の支援

ア 定例会などでの相談・情報提供・コーディネートなど活動支援	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業
実施内容	見守り隊定例会・サロン定例会等への参加や、個別支援に関する同行訪問等の活動支援を行った。 ・小地域福祉活動グループ定例会への参加及び活動支援 回数：210回 ・地域活動支援 回数：36回	
効果	各地域の定例会等に参加し、住民とともに地域の課題について考える機会を持ち、活動の充実や課題解決につなげることができた。	

イ 活動のための環境整備	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業 ボランティアセンター事業 生活支援体制整備事業
実施内容	住民のボランティア活動に関する保険加入の情報提供や活動費確保に向けた支援を推進した。 ・ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の利用支援 ・各種助成金の情報提供及び申請支援 ・企業等からの寄附・寄贈とのつなぎ支援	
効果	各事業担当で、小地域福祉活動を実施、充実させていくための情報提供と利用支援を行い、活動のための環境整備に努めた。独自の活動を推進する地域の動機づけができた。	

④ 地域企業の地域福祉活動参加の促進

ア 地域企業との協働による地域福祉活動のしくみづくり	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業 ボランティアセンター事業
実施内容	1. 必要に応じて、助成団体から発信されている情報を各自治会等に提供ならびに申請時における助言等を行った。 2. ボランティア講座として、麒麟福祉財団の協力のもと「助成金申請書の書き方」講座を実施し、各種助成金を活用しての効果的な小地域福祉活動の展開について住民とともに学ぶ機会を設け、各地域での展開につないだ。 期日 令和元年10月4日（金） 講師 麒麟福祉財団 副事務局長 佐々木哲生 氏 参加者 32名 P22 再掲 3. 企業の継続的社会貢献と小地域福祉活動者とのつなぎ支援 企業による寄附・寄贈の継続的取組みと地域課題に取り組む団体をつなぎ、活動者が安心して地域福祉活動を推進できる仕組みづくりを行った。 E スペースうるま店、塩屋店 日本郵便沖縄支社及び市内郵便局 中部電気業協同組合	

	うるま市商工会
効果	助成金を活用した、地域における取組みに繋げることができた。 各地で活動を展開する団体が、その活動を充実・推進する環境づくりを推進することができた。

計画4 防犯・防災対策の充実

① 地域における防犯対策の支援

ア 地域防犯活動の支援及び犯罪情報の発信 (SNS等の活用)	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	facebook による情報発信 1 回 ・ 飼い犬（闘犬）の逃亡に伴う注意喚起と捕獲情報	
効果	防犯関連の情報が乏しいため、情報ソースの開拓が必要。また、地域の防犯活動の紹介などの情報発信に努めたい。	

② 地域における防災対策の支援

ア 自主防災組織の結成への啓発	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	活動している自主防災組織を把握した。	
効果	平成 31 年度は、現状活動している自主防災組織の把握ができた。	

イ 自主防災組織と災害ボランティアセンターとの連携	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	他市町村の研修や演習に参加した。	
効果	平成 31 年度については、災害ボランティアセンターの役割や自主防災組織との連携を他市町村の実践から学ぶことができた。	

ウ 災害対応マニュアルに基づく平常時からの関係者とのネットワークの構築と必要な環境整備	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金等
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	具志川地区事業： 防災士による研修の機会を事業として持ちつつ、地域住民と平時に取組むべき活動や必要なネットワークについて共有の機会を持った。	
効果	平時からの備えについて学んだことで、今後具体的に行えることを地域とともに話合う機会となった。	

③ 避難行動要支援者への支援

ア 避難支援者の確保に向けた啓発	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	各地域における要支援者、危険個所等の把握のためのマップづくりと地域住民との共有。（ふれあい総合相談支援事業、生活支援体制整備事業） 随時	
効果	自治会を中心とした小地域福祉活動者とともに要支援者の共有ができた。	

イ 小地域ネットワーク活動組織と連携した避難支援体制づくりの支援	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	具志川地区事業： 期日 令和元年12月24日(火) 場所 健康福祉センターうるみん 内容 当該地区の「災害」 防災士：稲垣暁氏による講話 参加者 64名 P17 P32 再掲	
効果	自治会を中心とした防災対策や発災時に向けた意識喚起につながった。	

目標3 快適で安心して暮らすための地域環境づくり

計画1 サービス提供体制の充実

① 福祉サービスの充実

【高齢者の支援】

ア 生きがい活動支援通所事業		事業形態	市受託事業			
		主な財源	市受託金			
		サービス区分	生きがい活動支援通所事業			
実施内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことが出来る福祉環境を整備する事を目的とし、介護予防の視点で自治会、福祉推進会等を通じて地域資源の活用など地域における支え合い活動を支援した。 (体操・手工芸・レクゲーム・カラオケ・グラウンドゴルフ・講話・交流活動・社会見学等)					
	実施地区：62 推進会：827 回 利用者：18,936 人					
		具志川地区	石川地区	勝連地区	与那城地区	
	実施自治会数	30 自治会	15 自治会	6 自治会	11 自治会	
	実施回数	366 回	270 回	75 回	116 回	
	利用者総数	9,181 人	5,612 人	2,060 人	2,083 人	
	平均利用者数	25 人	21 人	27 人	18 人	
	平均対象者数	17 人	13 人	16 人	12 人	
	平均推進員数	9 人	8 人	12 人	6 人	
効果	月 2 回自主活動：8 か所 月 1 回のみ自主活動：11 か所、月 1 回職員派遣：54 か所					
	地域で推進委員として活動できる方を発掘・育成し、自主活動に移行できるようサポートすることで、月 2 回の自主活動を運営できる地区が増えた。					

《事業名》 イ ふれあいコール事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあいコール事業
実施内容	一人暮らしの高齢者を対象として、電話による定期的な健康状態の確認、心のふれあいや緊急時の迅速な通報・連絡等を行った。 実施日 毎週月・水・金(火・木・土：数名の利用者あり) 利用実績 4,243 名 実人数：43 名	

	利用者数 具志川地区 : 26 名 2,369 回 石川地区 : 7 名 747 回 勝連地区 : 3 名 334 回 与那城地区 : 7 名 793 回 合計 : 43 名 4,243 回
効果	利用者との心のふれあい、コール不通時の緊急連絡先、ケアマネジャー等への迅速な対応ができた。

ウ 介護保険事業（指定居宅介護支援事業） （介護予防支援事業） （介護予防ケアマネジメント事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	介護報酬
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	介護保険利用者が日常生活を営むために適切なサービスが利用できるよう利用者本位のプランを提供した。 ・居宅介護支援事業 利用者数：72 人 ・介護予防支援事業 利用者数：7 人 ・介護予防ケアマネジメント事業 利用者数：6 人	
効果	利用者本位のプラン提供に向け家族・多職種連携を図り提供できた。	

エ 介護保険事業 （通所型サービス事業）	事業形態	自主事業
	主な財源	介護保険
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	介護保険利用者が日常生活を営むために適切なサービスが利用できるよう利用者本位のサービスを提供した。 ・通所介護事業・・・利用者数：41 名 実施日数：309 日 ≪市受託事業≫ ・介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス） 利用者数:11 名 実施日数 309 日	
効果	利用者本位のサービス提供に向け家族・多職種連携を図り提供できた。	

【障がい者（児）の支援】

ア 障害者相談支援事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	障がい者（児）がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい者（児）が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行った。 委託相談員配置：1 名 相談者数：434 名（実人員：障がい者 71 名 障がい児 52 名） 支援延件数：2,294 件（困難ケース対応 473 件） 相談支援事業所への支援等：197 件 うるま市地域自立支援協議会の運営等（各種会議）：92 件	
効果	相談者の実情に応じ、効果的な支援へ繋がるよう各種機関と連携しつつ努めた。高い専門性と経験値を必要とする事業として、相談者・関係機関からも相談ニーズはますます高くなっている。	

イ 障害者地域活動支援センター事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金

	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	障がい者がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、社会参加活動や創作活動支援をとおして、自立意欲を高め社会復帰と社会参加の促進を図った。 また、当事者自身が仲間や地域との交流を通して、意欲と自信を向上させ、自立に向けて取り組むことができるよう働きかけるとともに、生活課題について学習の機会を提供した。 登録者数 154 名 年間延利用者数 4,180 名(開所日数：241 日) 利用者の実情に応じ、ひとりひとりの可能な限りの自立生活が送れるよう効果的なサービス提供ができるよう取組んだ。ピアサポート活動の充実を目指し、発達障が者支援センター等と連携し、当事者ミーティングを開始した。 実施回数：18 回（延参加者数：107 名）	
効果	障がい者の社会復帰、自立及び社会参加の促進につながった。	

ウ 指定特定相談（サービス等利用計画作成）	事業形態	自主事業
	主な財源	自立支援費等収入
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	障がい者がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい者が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行いサービスへ繋がるよう支援を行った。 利用者数：180 名 終結件数：20 件	
効果	利用者個々のニーズの把握を行いながら、利用者の実情に応じ、効果的なサービスへ繋がるサービス等利用計画づくりができた。	

エ 指定障害児相談支援事業（サービス等利用計画作成）	事業形態	自主事業
	主な財源	自立支援費等収入
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	障がい児がその有する能力に応じ自立した生活が送れるよう、生活相談支援を行うとともに、障がい児が住み慣れた地域で希望する生活が実現できるよう、生活相談支援を総合的かつ継続的に行いサービスへ繋がるよう支援を行った。 利用者数：41 名 終結件数：1 件	
効果	本人、家族の実情を把握しつつ、必要なサービスとの繋ぎや計画的な生活支援のためのプラン作成ができた。	

《事業名》 オ 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着支援）	事業形態	自主事業
	主な財源	自立支援費等収入
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	利用対象者なし	

《事業名》 カ 福祉機器リサイクル事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金

		サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	不要になった福祉機器を再利用し、貸出しをすることにより、在宅療養者の日常生活のサポート等、応急的処置を行う。 利用件数：198 件		
	福祉機器	件数	地区別内訳
	車いす	131 件	具志川地区（147 件） 石 川 地 区（37 件） 勝 連 地 区（5 件） 与那城地区（9 件）
	松葉杖	10 件	
	四点歩行器	28 件	
	シャワーチェアー	21 件	
	ポータブルトイレ	8 件	
	合 計	198 件	
効果	病気やケガなどで公的サービスに該当しない方や申請中でサービスを利用できない方へ貸出すことで在宅環境の整備が図れた。		

キ 意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）		事業形態	市受託事業
		主な財源	市受託金
		サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に、要約筆記等の方法で支援する要約筆記者等の派遣を行い意思疎通の円滑化を図った。 派遣回数：40 件（団体 7、個人 3） 派遣者数 9 人（延派遣者数：75 名） 要約筆記奉仕員：登録者数：13 名		
	派遣内容	件 数	
	当事者活動（団体）	23 件	
	公的機関（訪問相談）	6 件	
	その他（個人）	11 件	
	合 計	40 件	
効果	意思疎通と図ることに支障のある障がい者等への支援が拡充した。		

ク 手話奉仕員養成事業		事業形態	市受託事業
		主な財源	市受託金
		サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	聴覚障がい者へのコミュニケーション支援を図るため、手話奉仕員の養成講座を開催した。 ①入門講座：16 名（修了者：13 名）②基礎講座：18 名（修了者：12 名） 実施期間：令和元年 5 月 16 日～令和 2 年 2 月 27 日（全 39 回） 講 師：神田 朋子（聾講師） 喜屋武 初美（聴講師） ※3 月 5 日（40 回）で講座修了予定だったがコロナウイルス対応策として自粛となり、今回 39 回で終了。同時に修了式も行う。		
効果	入門講座、基礎講座をとおして、手話奉仕員の養成ができた。		

	事業形態	市受託事業
--	------	-------

ケ 点訳奉仕員養成事業		主な財源	市受託金
		サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	視覚障がい者のための点訳技術を習得する養成講座で、今年度は実施なし。		

コ 音訳奉仕員養成事業	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	文字による情報入手が困難な視覚障がい者のために、音声訳による広報誌等の作成に係る（録音機材の使用法、技術面での勉強会・録音の仕方等）スキルアップの為の講座を実施した。 受講奉仕員 12 名 実施期間 令和元年 8 月 6 日～令和元年 12 月 3 日（全 12 回） 指導講師 山根悦美	
効果	講座の実施により、奉仕員のスキルアップにつながった。	

《事業名》		事業形態	市受託事業
サ 点字・声の広報等発行事業		主な財源	市受託金
		サービス区分	障害者社会参加促進事業
実施内容	視覚障がい者に対して、地域生活をする上で必要な情報提供を定期的に行い、社会参加への促進を図る事を目的に実施した。 利用者：39 名（点字訳：21 名、音声訳：18 名） 利用実績：点字訳 広報うるま 252 部 社協だより 21 部 カレンダー 22 部 音声訳 広報うるま 204 本 社協だより 21 本		
効果	視覚障がい者への定期的な情報提供を行うことで社会参加の促進につながった。		

シ 移動支援事業 (リフト付き福祉バス運行事業)		事業形態		市受託事業		
		主な財源		市受託金		
		サービス区分		障害者社会参加促進事業		
実施内容	屋外での移動が困難な障がい者等の外出支援のため、福祉バスを運行することにより、地域における自立生活及び社会参加を促進する。 実利用者数：53 名 内容：身体障がい者の外出における移動手段の提供を行い支援。					
	利用内容		障がい種別		地区別	
	病院受診等	650 回	視覚障がい	225 回	具志川地区 (723 件) 石川地区 (110 件) 勝連地区 (142 件) 与那城地区 (215 件)	
	買い物等	132 回	上肢・ 下肢障がい	241 回		
	視覚障がい者 卓球	178 回	聴覚障がい	29 回		
	社協行事	10 回	内部障がい	695 回		
	その他	220 回				
	合 計	1,190 回	合 計	1,190 回		
	効果	旧離島地区の利用者も増え、移動が困難な障がい者の支援につながった。				

【地域生活の支援】

ア 生活福祉資金貸付事務事業		事業形態		県受託事業				
		主な財源		県受託金				
		サービス区分		生活福祉資金貸付事務事業				
実施内容	低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯を対象に必要な資金を他から受けることが困難な世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行った。							
	1. 貸付けの相談対応・進達事務							
	【地区別累計内訳表】（平成 31 年度貸付のみ）							
		本所	石川地区	勝連支所	与那城支所	その他相談	合 計	
	相談件数	129 件	72 件	42 件	7 件	416 件	666 件	
	申請件数	11 件	7 件	3 件	0 件	－	21 件	
	貸付件数	9 件	2 件	3 件	0 件	－	14 件	
	【資金種類別件数】							
	資金種類	総合支援 資金	緊急小口 資金	福祉 資金	教育支 援資金	不動産 担保	特例小口 (コロナ)	合 計
	申請件数	0 件	10 件	6 件	0 件	0 件	5 件	21 件
貸付件数	0 件	8 件	6 件	0 件	0 件	0 件	14 件	
※特例小口 コロナウイルス感染症の影響による緊急貸付								
2. 滞納世帯への対応及び償還の支援								
①うるま市社協償還相談会の実施（対象世帯 119 世帯 対応件数 13 件）								
期日 令和元年 12 月 11 日（水）・12 日（木）								
場所 健康福祉センターうるみん								
②沖縄県社会福祉協議会と連携し、滞納世帯への訪問及び償還指導の実施								
期日 令和元年 8 月 28 日（水）～30 日（金）								
場所 健康福祉センターうるみん及び対象者宅								
対象世帯 130 世帯（対応件数 59 件）								
③パーソナルサポートセンターとの連携による生活困窮者への支援								
支援調整会議への参加 6 回（月 1 回 9 月終了）								
④担当職員研修会等への参加 2 回								
⑤民生委員・児童委員との連携								
貸付制度における民生委員・児童委員の役割と制度についての理解と協力を求め、連携して取組んだ								
効果	生活困窮者の自立更生につながった。							

イ 貸付相談事業（福祉金庫）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	緊急度が高く、生活福祉資金の貸付に該当しないなど、切迫した状況にある世帯へ資金の貸付と必要な相談支援を行った。 貸付件数：3 件	
効果	生活費の貸付をとおして、相談者の生活再建につながった。	

ウ 法外援助事業（生活援助、被災者援助）	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	緊急度が高く、生活福祉資金の貸付に該当しないなど、切迫した状況にある世帯へ資金の給付と必要な相談支援を行った。 生活援助：1件	
効果	生活援助の給付をとおして、相談者の生活再建につながった。	

（２）専門職員等の人材確保と質の向上

各事業に必要な専門性を検証し、住民ニーズに応えることができる専門職員の適正配置に努めた。

ア 社会福祉士、精神保健福祉士等の専門職員の採用	事業形態	自主事業
	主な財源	市補助金
	サービス区分	—
実施内容	新規採用 正職員 社会福祉士 1 名 （ふれあい総合相談支援事業） 社会福祉士・精神保健福祉士 1 名 （うるま市権利擁護センター） 非常勤職員 社会福祉士 2 名 （日常生活自立支援事業） （障害者地域活動支援センター）	
効果	専門職員を採用し、専門性を要する事業に配置できたことで、各相談支援の質が向上した。	

イ 職員学習会・研修の機会の提供（実施、派遣）	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	目 的 うるま市社会福祉協議会の職員が、その基礎的及び専門的資質の向上と、組織の一員として共通に求められる価値・倫理観、人権意識の醸成を図り、うるま市の社会福祉の増進に寄与できる人材育成を目指して職員研修会を実施した。 ①ハラスメント研修会 期 日 令和元年 10 月 11 日（金） 場 所 健康福祉センターうるみん 対 象 うるま市社会福祉協議会の管理職、係長、支所長、事業所長 その他、開催目的に賛同する職員 内 容 講話「職場におけるハラスメントとその防止」 意見交換ワーク 講 師 社会保険労務士法人 クローバー 社会保険労務士 比嘉 正人 氏	
効果	社会福祉事業に必要な専門性を確保し、安心して働ける職場環境づくりと教育機能の充実につながる。	

ウ 資格取得支援	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—

実施内容	入学に係る職場推薦、単位習得のためのスクーリングの特別休暇付与 社会福祉士養成校 1名 精神保健福祉士養成校 2名 社会福祉主事養成校 1名
効果	精神保健福祉士取得 1名 社会福祉主事取得 1名

エ 業務調整会議及び連絡会の実施	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	各課の連絡会や必要に応じた業務調整会議を開催した。	
効果	実施活動に係る業務が円滑になる。	

オ 苦情解決の体制づくり	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	第三者委員の設置	
効果	利用者からの苦情に対して適切な対応と迅速な改善を図り、利用者の権利擁護と本会の社会的信頼が向上する。	

計画2 相談・情報提供の充実

- ① 相談支援の充実
- ② 相談員の確保と質の向上

ア 社協相談窓口の設置と全職員の教育体制の強化	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	各種事業担当者会議の実施 多職種情報交換会	
効果	担当者会議、情報交換会をとおして互いの業務に係る必要な知識・技術を共有し、ピアスーパーヴィジョン、コンサルテーション等適宜受けられる環境ができつつある。	

イ コミュニティソーシャルワーカーの専門性の向上と各種専門相談機関との連携強化	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業
実施内容	個別支援・地域支援を展開する上で必要に応じて、関係機関と連携し協力体制の構築を図った。また、専門性の向上を目的として各種研修等への参加を行った。（再掲） ・関係機関とのケース検討会議 80回 ・関係機関との連絡会の開催 196回 ・各種研修会への参加 16回	
効果	多職種連携による個別支援の展開ができた。	

ウ 権利擁護センターの設置と専門員の専門性の向上	事業形態	市受託事業、県受託事業
	主な財源	市受託金、県受託金、利用料

	サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業
実施内容	・専門員実践強化研修会Ⅰ参加（2日間：2名） ・成年後見人材育成研修会参加（4日間：2名） ・専門員連絡会・研修会参加（6回） ・ケース検討会議参加（41回）	
効果	各種研修への参加・ケース検討会議等を行い、事業を継続実施できる環境整備を行うとともに専門員・生活支援員に必要な知識・技術の向上につながった。	

エ 生活資金貸付事業の相談員の専門性の向上	事業形態	市受託事業
	主な財源	県社協委託金
	サービス区分	生活福祉資金貸付事務事業
実施内容	・生活福祉資金貸付事業担当職員研修会参加（2名） ・緊急小口資金等の特例貸付説明会参加（2名） ・パーソナルサポートセンター支援調整会議（月1回）	
効果	研修会へ参加し、相談員に必要な知識・相談技術の向上につながった。	

オ ボランティアセンターの設置とコーディネーターの専門性の向上	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ボランティアセンター運営事業
実施内容	ボランティア活動に関する調査・研究 中部地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア部会 11回 令和1年度市町村ボランティア担当者研究協議会 地域防災訓練実施の発表会 災害に強い村づくり講座 地域学校協働活動参加についての講演会 浦添市福祉教育活動実践報告会 ボランティアコーディネーター養成講座 石川地区意見交換会 3回	
効果	各種研修、地域意見交換への参加をとおしてコーディネーターの資質の向上につながった。また、うるま市における課題の検証と必要なボランティアの養成等の視点につながった。	

カ 障害福祉サービス事業所の充実と相談支援専門員等の専門性の向上	事業形態	市受託事業 自主事業
	主な財源	市受託金、自立支援費等収入
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）参加（2日間：1名） ・アルコール関連問題支援者研修会参加（1名） ・発達障がい・知的障がい支援職員研修会参加（2日間：1名） ・ピアサポーター養成研修参加（1名） ・精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修参加（2日間：1名） ・相談支援従事者現任者研修参加（3日間：3名） ・精神障害者の地域移行関係職員に対する研修参加（2日間：1名） ・障がい者虐待防止研修会参加（2日間：3名） ・対人関係の力を育てる「境界線」講演会参加（6名） ・相談支援専門員連絡会参加（11回）	

	・委託相談員連絡会参加（11回） ・医療的ケア児等支援者養成研修参加（4日間：1名） ・地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能強化・充実のための研修会参加（1名） ・ケース検討会議（随時）
効果	各種研修への参加・ケース検討会議等を行い、指定特定相談支援事業が継続実施できる環境整備を図るとともに、相談支援専門員に必要な知識・技術の向上につながった。

キ 介護保険事業所の機能充実と介護職員の専門性の向上	事業形態	自主事業
	主な財源	介護報酬、利用料
	サービス区分	介護保険事業
実施内容	安心・安全にサービス提供が出来るように個々に合った必要な知識、技術の習得、職員の倫理観や人権意識の醸成に努める。 ・認知症の理解について 1回 ・介護保険制度について 1回 ・介護における接遇マナー 1回 ・バランスのいい昼食メニュー 1回	
効果	介護労働安定センター・専門職と相談連携を行い専門性の向上に努める。	

③ ふれあい総合相談支援センターの充実

ア ふれあい総合相談支援センターの運営と相談支援体制の強化	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	ふれあい総合相談支援事業
実施内容	福祉圏域ごとにふれあい総合相談支援センターの設置し、各地区コミュニティソーシャルワーカーが総合相談支援と地域づくり支援に取り組んだ。 ・具志川東地区 うるま市社協本所 2名 ・具志川西地区 うるま市社協本所 2名 ・石川地区 うるま市社協石川支所 1名 ・勝連・与那城地区 うるま市勝連支所 1名	
	延相談支援件数	1,566 件
	相談支援実人数	389 名
効果	各地区とも、自治会・民生委員児童委員、関係各機関等と連携しつつ、住民の相談支援に取り組んだ。与那城地区に専属コミュニティソーシャルワーカーを配置することができていない状態が続いており、1人で勝連・与那城地区を担当しているため、人員配置に向けた取り組みが必要。	

④ 地域人材との連携による相談支援の充実

ア 民生委員・児童委員や関係者、機関、団体との連携による地域ニーズの把握	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	地福祉ネットワーク組織（見守り隊等）の定例会への参加、民協定例会への参加等により、地域課題の把握や、個別の相談対応等による要支援者の把握を行った。	
効果	民生委員と協働で要支援者を把握し支援することで、負担の軽減を図ることができた。また、各種定例会への参加により地域ニーズの把握を行うことができた。	

⑤ 情報提供の充実

ア 社協及び住民活動を紹介するリーフレットやチラシの発行	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金
	サービス区分	共同募金配分金事業 生活支援体制整備事業
実施内容	地域づくり支援事業：地域見守りネットワーク連絡会だより（協定企業） C S W通信（自治会） 生活支援体制整備事業：地域資源マップ（市内全世帯）	
効果	地域づくり支援事業では、連絡会の報告やトピックスなどを協定企業向けに発信し、各企業が見守り活動に継続的に意識できる仕組みができた。また、各地の小地域福祉活動や地域づくり支援事業の報告等を自治会に発信し、地域でできる支えあい活動の意識化に働きかけた。生活支援体制整備事業では、地域にある社会資源マップを地域ごとに作成、全戸に配布し、高齢者の行き場の啓発に取組んだ。	

イ Facebook 等のSNSを活用した情報の発信	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	法人運営事業
実施内容	うるま市社会福祉協議会 Facebook ページ http://www.facebook.com/urumashakyo/ ページ更新回数 32回 フォロワー数 46人 インスタグラムでのボランティア情報の発信（ボランティアセンター）	
効果	ページ更新回数が大幅に増加し、社協事業の情報発信の頻度増に大きく貢献している。今後はホームページとの連携と地域活動紹介の強化を図りたい。	

計画3 人にやさしいまちづくりの推進

① ユニバーサルデザインの普及啓発

ア 障害者地域活動支援センター事業（普及啓発活動）	事業形態	市受託事業
	主な財源	市受託金
	サービス区分	地域活動支援センター事業
実施内容	地域活動支援センター事業、障害者相談支援事業、ボランティアセンター事業が実施する福祉教育活動をとおして、すべての人が安心して暮らせる地域について児童・生徒、住民と共に考え、住民が主体的にその環境づくりに向けた取組みが行えるよう普及啓発を推進した。	
効果	地域活動支援センター、障害者相談支援事業による福祉講話、当事者の体験発表・交流会や、ボランティアセンターによる各学校での福祉教育プログラムの提供をとおして、児童へユニバーサルデザインの啓発が行えた。	

② 移動手段の充実支援

ア 地域づくり支援事業 ※P17 再掲

イ 生活支援体制整備事業 ※P18 再掲

計画4 生活困窮者自立支援のための連携強化

① 生活困窮者の自立に向けた支援

ア 生活困窮者自立支援にかかわる各種関係者との連携強化	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	・生活困窮者自立支援にかかわるパーソナルサポートセンター等各種関係機関と連携支援を行った。 ・生活福祉資金貸付事業や福祉金庫による生活費の貸付を実施した。 ・法外援助事業によるサービスへ繋ぐための必要な費用の給付を行った。1件 ・食料提供支援の調整を行った。	
効果	個別相談にてその生活状況を把握し、生活福祉資金貸付事業や福祉金庫での生活費の貸付け、住宅確保給付金・就労支援・家計支援等、制度の利用など関係機関と連携しながら支援を行うことで、生活の立直しを図ることができた。	

イ 食糧提供支援の調整	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	生活困窮等による食料提供の必要性または関係機関からの依頼があった際には、フードドライブ窓口提供のあった食料の提供を実施した。	
効果	フードドライブに提供のあった食料を提供することで、緊急性の高い相談者への対応や、制度への繋ぎ支援・制度の狭間にある相談者への対応を行うことができた。	

計画5 子どもの貧困対策の充実

① 子どもの貧困対策への支援

ア 子ども支援に必要な各種関係者との連携強化	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	NPO 法人ちゅらゆいとの協働で、子どもの居場所ネットワークへの取り組みを実施した。 第1回目 期日 令和元年9月9日(月) 場所 健康福祉センターうるみん 参加者 21名 第2回目 期日 令和元年12月10日(火) 場所 健康福祉センターうるみん 参加者 13名	
効果	今年度は2回の連絡会を実施し、関係性の構築を図ることができた。	

イ ひとり親世帯等新入学児童激励事業の実施	事業形態	自主事業
	主な財源	共同募金配分金
	サービス区分	共同募金配分金事業
実施内容	具志川地区 66世帯(66名) 330,000円	

	石 川地区 26 世帯 (26 名) 130,000 円 勝 連地区 12 世帯 (12 名) 60,000 円 与那城地区 5 世帯 (5 名) 25,000 円 合 計 109 世帯 (109 件) 545,000 円
効果	新入学児童の入学時費用の一部として必要とする世帯に激励金を支給することができた。

② 地域の子どもの居場所づくりの推進

※P26～27 再掲

③ 学習支援の場の推進

ア 地域の学習支援活動の支援	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業 ボランティアセンター運営事業
実施内容	1. ボランティアセンターによる自治会による夏休みの学習支援（寺子屋）の場へのボランティア派遣。 派遣場所： 15 地区（131 名派遣） 2. 子どもの居場所と企業等の社会貢献とのつなぎ支援の実施。 （コミュニティソーシャルワーカー） Eスペースうるま店、塩屋店 日本郵便沖縄支社及び市内郵便局 中部電気業協同組合 うるま市商工会	
効果	活動を推進するための必要な環境づくりに取組めたことで、各地の活動を充実させることができた。	

イ 情報発信による学習支援の場づくり	事業形態	自主事業、市受託事業
	主な財源	共同募金配分金 市受託金
	サービス区分	地域づくり支援事業 ボランティアセンター運営事業
実施内容	1. ボランティアセンターによる自治会による夏休みの学習支援（寺子屋）のボランティア募集広報。 2. コミュニティソーシャルワーカーによる子どもの居場所活動状況の発信。	
効果	学校への学習支援ボランティア募集に関する広報を行い、各地での学習支援活動を発信したことで、新たなボランティアの発掘を行った。 また、その活動状況をコミュニティソーシャルワーカーが把握し、各地域へ情報提供を行った。訪問による情報提供及びチラシ（C S W通信）による活動情報の発信により、新たに活動を希望する地域を発掘できた。	

計画 6 権利擁護の推進

① 日常生活自立支援事業の充実

ア うるま市権利擁護センターの体制、機能の充実	事業形態	市受託事業、県受託事業
	主な財源	市受託金、県受託金、 利用料

		サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業																																				
実施内容	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービス利用援助を行った。																																						
	1. 相談への対応及び利用援助																																						
	①うるま市権利擁護センター事業 《市受託事業》																																						
	ア 相談援助件数：実利用人数 42 名（延 3,100 件）																																						
	イ 相談援助内容別																																						
	<table><tr><th rowspan="2">内 容</th><th colspan="4">本事業の利用に関するもの</th><th rowspan="2">合 計</th></tr><tr><th>認知症 高齢者</th><th>知的障 がい者</th><th>精神障 がい者</th><th>その他</th></tr><tr><td>問合せ件数 （制度、事業について）</td><td>1 件</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>1 件</td><td>3 件</td></tr><tr><td>初回相談件数 （初回相談受付）</td><td>4 件</td><td>1 件</td><td>13 件</td><td>3 件</td><td>21 件</td></tr><tr><td>上記以外相談援助件数</td><td>1,239 件</td><td>560 件</td><td>1,263 件</td><td>38 件</td><td>3,100 件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,244 件</td><td>561 件</td><td>1,277 件</td><td>42 件</td><td>3,124 件</td></tr></table>					内 容	本事業の利用に関するもの				合 計	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	問合せ件数 （制度、事業について）	1 件	0 件	1 件	1 件	3 件	初回相談件数 （初回相談受付）	4 件	1 件	13 件	3 件	21 件	上記以外相談援助件数	1,239 件	560 件	1,263 件	38 件	3,100 件	合 計	1,244 件	561 件	1,277 件	42 件	3,124 件
	内 容	本事業の利用に関するもの					合 計																																
		認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他																																		
	問合せ件数 （制度、事業について）	1 件	0 件	1 件	1 件	3 件																																	
	初回相談件数 （初回相談受付）	4 件	1 件	13 件	3 件	21 件																																	
上記以外相談援助件数	1,239 件	560 件	1,263 件	38 件	3,100 件																																		
合 計	1,244 件	561 件	1,277 件	42 件	3,124 件																																		
ウ 契約締結件数等																																							
<table><tr><th></th><th>認知症 高齢者</th><th>知的障 がい者</th><th>精神障が い者</th><th>その他</th><th>合 計</th></tr><tr><td>実利用者数 42 人</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td></tr></table>						認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障が い者	その他	合 計	実利用者数 42 人	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件																							
	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障が い者	その他	合 計																																		
実利用者数 42 人	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件																																		
エ 生活支援員数：登録者 22 名（うち活動者数：20 名）																																							
オ 支援状況																																							
<table><tr><th>生活支援員対応状況 （定期支援）</th><th colspan="4">専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）</th></tr><tr><td>373 件</td><td colspan="4">3,296 件</td></tr></table>					生活支援員対応状況 （定期支援）	専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）				373 件	3,296 件																												
生活支援員対応状況 （定期支援）	専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）																																						
373 件	3,296 件																																						
②日常生活自立支援事業《県社協受託事業》																																							
ア 相談援助件数：実利用人数 40 名（延 2,719 件）																																							
イ 相談援助内容別																																							
<table><tr><th rowspan="2">内 容</th><th colspan="4">本事業の利用に関するもの</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>認知症 高齢者</th><th>知的障 がい者</th><th>精神障 がい者</th><th>その他</th></tr><tr><td>問合せ件数 （制度、事業について）</td><td>2 件</td><td>0 件</td><td>2 件</td><td>3 件</td><td>7 件</td></tr><tr><td>初回相談件数 （初回相談受付）</td><td>7 件</td><td>2 件</td><td>6 件</td><td>1 件</td><td>16 件</td></tr></table>					内 容	本事業の利用に関するもの				合計	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	問合せ件数 （制度、事業について）	2 件	0 件	2 件	3 件	7 件	初回相談件数 （初回相談受付）	7 件	2 件	6 件	1 件	16 件													
内 容	本事業の利用に関するもの					合計																																	
	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他																																			
問合せ件数 （制度、事業について）	2 件	0 件	2 件	3 件	7 件																																		
初回相談件数 （初回相談受付）	7 件	2 件	6 件	1 件	16 件																																		

	上記以外相談 援助件数	151 件	1, 100 件	1, 419 件	49 件	2, 719 件
	合 計	160 件	1, 102 件	1, 427 件	53 件	2, 742 件
	ウ 契約締結件数等					
		認知症 高齢者	知的 障がい者	精神障 がい者	その他	合 計
	実利用者数 40 人	1 件	1 件	4 件	0 件	6 件
	エ 生活支援員数：登録者 22 名（うち活動者数：20 名）					
	オ 支援状況					
	生活支援員対応状況 （定期支援）	専門員対応状況 （訪問調査・金銭管理支援・福祉サービス 利用援助等）				
	286 件	2, 951 件				
	効果	待機者の解消や利用者ニーズに基づいた支援に取り組んできた。日常生活自立支援事業においては、6 名を新規契約。うるま市権利擁護センター事業においては、成年後見移行等解約により利用者 5 名の契約を終結。待機者の解消に向けて計画的に新規利用者の受入れ準備を進めていく。				

イ 専門員の配置と支援員の担い手の確保	事業形態	市受託事業、県受託事業
	主な財源	市受託金、県受託金、 利用料
	サービス区分	権利擁護センター事業 日常生活自立支援事業
実施内容	専門員 3 名、常勤支援員 1 名、登録支援員 22 名にて実施。	
効果	地域より情報を得ながら、生活支援員の協力依頼を行ってきたが、新規確保は 1 名。継続的な担い手の確保に向けた検討を進めていく。	

ウ 緊急預かり支援事業の継続的实施	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	7 件を継続。介護長寿課及び障がい福祉課からの依頼により、新規契約 27 件。他制度へ 15 件移行。19 件が契約継続となっている。	
効果	日常生活自立支援事業、うるま市権利擁護センター事業の対応件数が受け入れ上限を超えたため待機者の申請により件数が大幅に増加。上記事業利用者の成年後見移行や自立終結等の待機者解消を進めつつ、受入れ件数の適正化を目指す。	

② 成年後見制度の利用支援

ア 成年後見制度の周知と利用案内	事業形態	自主事業
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	うるま市権利擁護センター事業による相談支援 （成年後見制度案内：3 件） 日常生活自立支援事業による相談支援（成年後見制度案内：6 件）	
効果	専門員による相談支援をとおして、相談者の実情にあわせた適切な支援	

	につなげることができた。
--	--------------

イ 日常生活自立支援事業から成年後見制度利用への移行支援	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	うるま市権利擁護センター事業から成年後見制度へのつなぎ支援 1件 日常生活自立支援事業から成年後見制度へのつなぎ支援 3件	
効果	利用者の判断能力の実情を把握し、判断能力にあわせた権利擁護のための適切な支援に移行した。	

③ 虐待等防止の普及啓発及び支援

ア 小地域ネットワークとの協働による虐待の未然防止及び早期発見・解決	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	小地域福祉活動定例会、相談支援活動をととして、児童、障がい者、高齢者の虐待を早期発見、専門機関につなぎ支援を行った。また、未然防止のための要支援世帯の把握、つなぎ支援を行った。	
効果	地域からの気になる情報に基づき、早期把握、早期介入、つなぎ支援を行ったことで、被虐待者と虐待者双方への必要な支援がされることで、虐待を防ぐことができた。	

イ 住民、企業、福祉事業所、学校等への虐待防止に関する普及啓発の実施	事業形態	—
	主な財源	—
	サービス区分	—
実施内容	障害者地域活動支援センター、障害者相談支援事業をととして、学校等への正しい障がいの理解や対応について啓発し、虐待防止に関する情報提供を行った。また、福祉事業所や住民への普及啓発のための各種研修会等へ協力した。 ボランティアセンター事業での福祉教育学習をととして、児童・生徒への人権意識の醸成に取り組んだ。	
効果	様々な生活のしづらさを抱える当事者の体験発表や交流の機会をととして、障がいに対する正しい理解と人権意識の醸成につながった。	